

管理運営評価シート(令和5年度)

施設名称	荒川地区体育施設(6施設)	評価対象年度	令和 5 年度
指定管理者名	NPO法人サンスマイルあらかわ	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和5年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用者数(6施設):53,711人、スポーツ事業:10事業実施(参加者数3,190人)
サービス向上の取組	・常に利用状況を確認出来るようにした。 ・中学校部活の受け皿となることで多くの方に喜んでもらえた。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (3年度)	前年度 (4年度)	当該年度 (5年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	50,610	55,231	54,859	160,700	基本協定額:	271,560	千円
	利用料金	1,338	1,401	1,401	4,140			
	事業収入	2,086	970	1,120	4,176			
	自主事業収入	474	562	549	1,585			
	その他	0	0	0	0			
	収入合計 ①	54,508	58,164	57,929	170,601			
支出	人件費	16,036	17,307	17,168	50,511			
	福利厚生費	2,942	3,549	3,612	10,103			
	事務費	1,676	1,430	1,507	4,613			
	管理費	27,067	28,609	27,683	83,359			
	水道光熱費	5,057	8,226	7,355	20,638			
	修繕料	2,272	1,807	1,800	5,879			
	使用料・リース料	1,324	1,031	1,858	4,213			
	手数料・保険料	673	719	393	1,785			
	委託料	17,741	16,826	16,277	50,844			
	事業費	3,400	2,572	2,835	8,807			
	自主事業経費	398	297	398	1,093			
	その他	3,100	4,162	4,506	11,768			
	支出合計 ②	54,619	57,926	57,709	170,254			
収支差額(①-②)		▲ 111	238	220	347			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	◎	○	利用状況を随時掲示し、予約状況を確認しやすくした。
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	◎	○	用具貸し出しの様式を変更する際、社員全員で検討、決定した。
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	◎	○	用具貸し出し時の様式を変更することで、個人情報を秘匿出来るようになった。
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	○	中学校部活動の地域移行の受け皿となった。
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	◎	○	サッカー関連の教室で効果的に利用できている。
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	◎	○	必要などころに修繕費を充てることが出来た。
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	◎	○	施設の管理運営に必要な研修会に参加をした。
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	イベントや教室を通して地域の皆様の健康増進を促している。

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題	
	体育館、運動公園ともに建物や整備器具が老朽しており、規模の大きな故障等が毎年発生している。令和6年度に体育館の改修工事が予定されているが、体育館全てが修繕されるわけではないため、今後どれだけの部分を修繕しなければいけないのか不安である。また、昨年度の課題にも記載したが、運動公園を整備するための器具がいつまでも使用できるかわからない状況の為、壊れて動かなくなる前に対策を講じなければならない。
(2) 課題解決に向けた取組	
	どちらの課題に対しても大きな金額が必要となってくるため、資金運用の中期的な計画を立て問題の優先度に応じたより具体的な管理・運営をしていく。
(3) その他	
	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 苦情は特に無かったが、もしあった場合は職員間ですぐ共有して迅速に対応したい。
	②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価	
	市民が施設を利用しやすいように工夫出来た所は高評価出来る。 改修工事が予定されているため修繕の箇所を適切に判断出来た、施設は老朽化しているため今後も安全管理に力を入れたい。
(2) 施設所管課の評価	
	管理施設が老朽化してきている中、施設利用における利便性を創意工夫により向上できたところは評価できる。 また、施設管理に係る研修会に参加するなど、施設の管理・運営面の強化を図るところは良い。 管理運営にあたって特段の苦情もないことから、利用者等から一定の評価が得られているものと思われる。今後も利用者等の安全・安心に向け、施設内外の確認や備品等の点検等を怠ることなく継続してもらいたい。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	
	施設の老朽化に伴い、修繕規模の拡大が懸念されるが、利用者等との関係性を維持しながら引き続き、適正な施設管理と利便性やサービスの向上に努めてもらいたい。 利用者の声を踏まえ、事業の見直しや新たな事業を企画立案、展開するとともに、地域貢献、地域福祉の増進を図るなど、一層の取組をお願いする。 また、更なる収入の確保と経費節減、創意工夫を凝らした施設管理・運営に努めてもらいたい。